

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟 広報誌

ひびきあい、

年頭のご挨拶

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟 理事長 松永恒文



皆様、新年明けましておめでとうございます。平素より当連盟に対してご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年は、国内外に様々な出来事がありました。元旦の能登半島地震、新紙幣発行、パリオリンピック、石破内閣発足、大谷翔平偉業達成、被団協のノーベル平和賞受賞、トランプ大統領の復活など。

このような情勢の中でも、当連盟は昨年スタートした新体制のもとで順調な活動を続けてまいりました。

1月29日に第27回定期総会を開催し、「楽譜ガイド2024年版」を発行しました。

5月26日には創立25周年記念「第17回シニアアンサンブル全国大会」を実施しました。また11月には海外交流に代わるものとして企画された気仙沼市での「東日本大震災さらなる復興を願うコンサート」の実施などいずれも期待以上の成果が得られました。

また、年間を通して各団の定演やコンサートなどが相次いで行われ、その数はざっと数えて25回ほど。

さらに、6月の越谷シニアアンサンブル（埼玉県）、10月の大田シニアアンサンブル（東京都）の発足、いずれも岡村名誉理事長の主導です。加盟楽団は38楽団になりました。このように2024年はまことに充実した年になり、全シ連の存在意義が高められたのではないのでしょうか。それぞれの活動を担当され、参加された皆様と指導の先生方の努力を讃えます。

さて今年は1月31日に第28回定期総会を、5月26日に第4回楽器別交歓会を計画してまいります。いずれも多くの方のご参加をお願いいたします。また、各団におかれましては定期演奏会など公開演奏を行って、地域との交流を促進して頂ければと思います。

また、気仙沼慰問を受けて、この春から同市において「楽しくやさしい3ヶ月の合奏講座」がはじめられる予定です。東北地方に全シ連の活動が広がる足がかりとなることが期待されます。

最後になりましたが賛助会の皆さまのご支援に対して厚くお礼を申し上げます。昨年は、気仙沼遠征や新規楽団の支援などに使用させていただきました。今年のお志は、気仙沼での講座開設や新規楽団の準備などに活用させていただきます。

今年も皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。